(株)ふよう堂刊(伊能図)

佐原観光マップ

小江戸めぐり

日本遺産認定
ユネスコ無形文化遺産登録　佐原の山車行事

北総四都市江戸紀行・江戸を感じる佐原の町並み

佐原観光プロモーション推進協議会
香取市・佐原商工会議所
本郷・佐原観光協会・小江戸さわらの会

ユネスコ無形文化遺産登録

国指定重要無形民俗文化財

江戸張り 佐原の大祭

7月と10月の年2回、市内が熱気でみふれる佐原の大祭は、約300年の伝統を引き継ぎ、国の「重要無形民俗文化財」に指定されています。夏は10台、秋は14台の勇壮豪華な山車は、哀調漂う佐原囃子の音と共に、時に優雅に、時に豪快に町の中を練り廻されます。

夏祭り 山車10台
7月10日以降の連続した金・土・日曜日

秋祭り 山車14台
10月第2土曜日を中日とする金・土・日曜日

八坂神社 (D-6)

小野川より東側、本宿の鎮守、氏神様で祭神は素盞嗚命です。諏訪山天王山に鎮座しています。牛頭天王社（祇園精舎の守護神）を江戸初期現在地に遷宮、明治の神仏分離時、八坂神社と改名されました。現在の社殿は神楽20年の建築で、社宝には市指定文化財の神輿一基と「基國感応天王宮、神社台舞延王」の扁額があります。境内には「山車会館」があります。

諏訪神社 (E-1)

小野川より西側、新宿の鎮守、氏神で祭神は建御名方神（大国主命の子）です。市史によると伊能家の氏神として奉還（成田市伊能）したのが始まりとされています。現在の社殿は嘉永6年（1853）の造営で神域には琴平神社（航海の神）市守社（六斎市の神）松尾神社（酒の神）等、佐原の歴史に深く結びついた主神が多くあります。

香取市ホームページをご覧ください。

水郷佐原山車会館

香取市佐原イ3362☎0478-52-4104
◆開館時間　9:00～16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩15分
◆駐車場　無料20台（大型可）
◆休館日　月曜（祝日の場合は開館し翌平日が休館）・年末年始
※詳細はホームページをご確認下さい。

高さ9メートルにもおよぶ山車を2台並べ、迫力ある映像とともに、関東三大山車祭り「佐原の大祭」の雰囲気を伝えています。夏祭りと秋祭りの山車は、古いものでは江戸後期の作。名工の手による大彫や精巧な彫刻などの山車飾りに、佐原の粋が見てとれます。

★個人
大人……400円　大人……350円
小・中学生…200円　小・中学生…150円

★団体（15名以上）
大人……450円
小・中学生…200円

伊能忠敬記念館とセットでお得な共通入館券
○大人…800円　○小・中学生…350円

ユネスコ無形文化遺産登録の「佐原の大祭」

山車2台常時展示！
※祭り期間中等は1台展示となります。

伊能忠敬

国宝　大日本沿海輿地全図（東京国立博物館）

日本で初めて実測による全国地図を作った伊能忠敬は、延享二年（一七四五）に上総国山辺郡小関村（九十九里町）で生まれました。その後下総国香取郡佐原村の伊能家に婿入りますが、そのとき忠敬は十二歳、妻のミチは「十二歳でした。当時の家柄からいって、もともと学問が好きだった忠敬は家業の合間に天文暦学の勉強を続け、四十九歳で隠居してからは江戸に出て本格的に勉強を始めます。そして五十五歳から十回にわけて全国測量を行いました。その間に歩いた距離は約三万五〇〇〇キロ、地球一周分にもなります。測量の成果は大日本沿輿地全図として結実しますが、それは七十二歳で忠敬がこなった二年後のことで、弟子達の努力によるものでした。

記念館所蔵の伊能忠敬関係資料三四五点は、平成二十二年六月二十九日に国宝に指定されました。

国指定史跡

伊能忠敬旧宅

◆開館時間　9:00～16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩10分
◆駐車場　近くに町並み観光駐車場（70台）があります
◆休館日　年末年始

伊能忠敬が30年余りを過ごした江戸時代の店舗の一部と表門、土蔵がその姿を残されています。当時は酒造業を営み、店舗は倉庫を改装したものといわれています。

樋　橋

伊能忠敬旧宅前に架かる樋橋の落水音は、午前9時から午後5時まで30分間隔で聞けます。江戸時代から300年近く農業用水を送り続けた大樋の名残で、あふれ落ちる水音から「ジャージャー橋」と親しまれた。その情緒ある音が再現されています。環境省の「残したい日本の音風景100選」の一つ。

伊能忠敬記念館

香取市佐原イ1722-1☎0478-54-1118
◆開館時間　9:00～16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩10分
◆駐車場　近くに町並み観光駐車場（70台）があります
◆休館日　月曜（祝日の場合は開館し翌平日が休館）・年末年始
※詳細はホームページをご確認下さい。

豪商の当主として商才を発揮した前半生と、隠居して日本地図作成に挑けた後半生を年代順に紹介。その業績の結晶である伊能図を開設に見ることができます。

★一般
大人……500円
小・中学生……250円

★団体（15名以上）
大人……450円
小・中学生……200円

水郷佐原あやめパーク

扇島1837-2　☎0478-56-0411
◆開園時間　9:00～16:30（イベント中変更有）
◆交　通　あやめ祭り期間中は佐原駅より有料シャトルバスを運行　無料500台（大型可）
◆駐車場
◆休園日　月曜、年末年始
（観蓮会・あやめ祭り期間中は無休）
◆入園料　大人／200円～800円　65歳以上／150円～700円　小・中学生／100円～400円　団体料金有（20名以上）　※12月～翌3月まで無料

水郷の中心部与田浦地域に位置する水郷佐原あやめパークでは、6月に約400品種150万本のハナショウブが咲き誇り、夏は300種を超すハスが楽しめます。

水郷佐原十二橋舟めぐり

奥水郷観光協同組合
ノグチ食堂 ☎0478-56-1177
出島屋 ☎0478-56-0901
◆休業日　不定休
◆利用料金
1隻3,000円（1～4人）
（追加料金2,000円/人）

水郷随一の名勝として人気があり、女船頭の操るサッパ舟でゆられながらの十二橋めぐりは水郷ならではの風情が味わえます。

国指定史跡

横利根閘門

横利根川の利根川合流口に造られた閘門は、7年の歳月をかけて大正10年（1921）に完成し、現在も稼動している我が国最大級のレンガ造構成閘門です。利根川増水時の逆流による農ヶ瀬沼岸の氾濫を防ぎ、高水時でも通航できるよう築造されました。当時の優れた土木技術を知る貴重な構造物です。

香取市佐原地区広域マップ

年間パスポート販売中
市内3施設（水郷佐原あやめパーク・水郷佐原山車会館・伊能忠敬記念館）共通の年間パスポートを販売中。お求めは各施設で。

○大人…2,000円　○小・中学生…1,000円

小江戸さわら 小野川・町並舟めぐり

まちおこし会社されがめぐり
佐原イ1730-3☎0478-55-9380
FAX0478-55-9390
◆乗船時間　10:00～16:00（運航ダイヤ変更有）
◆休業日　無休（天候・風水による休業有）
◆利用料金　大人／1,300円　小学生／700円

ゆったりと舟に乗り綿越しに伝統的建造物を見上げれば、まちを歩いたときとはまた違った風情を感じます。佐原のまちは小野川の舟運を軸として発展しました。川から見る佐原のまちこそ本物の幽都・交易都市佐原の姿なのです。

国指定重要文化財

観福寺 (F-6)

牧野1752☎0478-52-2804
駐車場　有

真言宗豊山派の古刺。本堂・観音堂・那沙門堂・薬師堂・大師堂・鐘楼堂などの建造物と、日本四国二大師の一つに数えられています。本尊は平将門の守護仏とされた聖観世音菩薩で890年の開山とされています。重要文化財の阿弥陀・十一面観世音菩薩・地蔵菩薩・薬師如来の全銅製仏像・仏四体があります。伊能忠敬、国文学者伊能嘉矩、植民地自治などのお墓をはじめ、古い下総民謡など も残されています。

浄国寺 (E-6)

佐原イ1973☎0478-52-2621
駐車場　有

日蓮宗、約450年前に創建される。境内地の赤レンガ塀には浄土宗雲龍が絵られ「浄行寺」と呼ばれて親しまれ、身体健全祈願の参拝者が絶えない。本堂内には清正公が祀られている。本堂の他に各種セレモニーに対応できる2百坪余の客殿を有する。

国指定重要文化財

香取神宮

香取1697-1　☎0478-57-3211
◆交　通　JR佐原駅から車で10分
◆駐車場　無料200台

御祭神　経津主大神（又の御名伊波比主大神）
国家鎮護の神、皇族守護の神として、古来皇室の御崇敬厚く奉祭使の御参向もしばしば行われた。上古より「神宮」と称せられ、古い社格では名神大社、下総国一之宮で、明治以後の神社制度に於ては官幣大社に列し、更に毎年段下の御幣帛の供進があり、6年毎に勅使参向の勅祭社に指定されて今日に至っている。又、12年に1度、午年毎の式年大祭が行われる。長い歴史と伝統ある式年神幸祭では約3000人のお供による、時代絵巻さながらの豪華絢爛な行列が執り行われる。

国宝　海獣葡萄鏡

香取神宮
案内略図
至佐原駅
至香取駅
参道入口
参道
参拝者駐車場
参拝者専用駐車場
手洗舎
神池
楼門神門
宝殿
神楽殿
神饌所
見晴台
寒香亭
桜の馬場
本殿
奥宮
奥宮神門
奥宮神楽殿
奥宮参拝者駐車場
表参道
表参道参拝者駐車場
表参道参拝者専用駐車場
表参道参拝者専用駐車場
表参道参拝者専用